

平成19年6月6日兵庫県精神科病院協会主催のバレーボール大会に監督として参加させていただきました。凄い事に優勝することができました。言っただけにいいのですが、正直当院のチームはずば抜けて強かったです。相手チームが2,3点連続で取ったとしても、みんなで声掛けをして、すぐに逆転できるチームワークの良いチームでした。あんなに周りに気を使い、しっかりしているのだから、社会復帰しても、何事も乗り越えて行けると思いました。後はきっかけだと思いますが、私に何か出来る事があるのなら何かしたいと以前より強く思えるようになりました。今回、バレーボールの監督をさせて頂き本当に良かったと思っています。ありがとうございました。

バレーボール大会

准看護師 松浦 剛



/ 神戸新聞に掲載されました /

外来通院中の患者様の投稿が神戸新聞に掲載されましたのでご紹介致します。

「高齢者にも雇用機会を」 崎川 健一 2007.6.4神戸新聞

日本は、これから少子高齢化社会となり、働く若い人口より、働かない高齢者の人口の方が加速度的に増えてくる。

年金生活で経済的にはほそぼそと暮らしていけるかもしれない。けれども、毎日仕事がなくして何もすることがない、むなしい日々を送らなければならない。

こんな社会を、何とかできないものか。求人雑誌にも、たくさんの求人広告ののっているが、ほとんどが、四十歳か四十五歳までと書いてある。

高齢者にも、もっと雇用の道を広げてあげてもいいんじゃないか。若者に比べて精神的にも、肉体的にも高齢者は劣るかもしれないが、長年生きてきた人生経験がある。

いくつになっても、充実した人生を送れるように、高齢者にももっと雇用の道を広げてあげても、いいのではないか。

基本理念

『人間愛に満ちた医療と愛情こもる看護・介護』



医療法人社団正仁会

明石土山病院・介護老人保健施設希望
つちやま訪問看護ステーション・精神障害者生活訓練施設みどり寮
精神障害者福祉ホームB型マックナイトホーム

〒674-0074

兵庫県明石市魚住町清水2744-30

TEL:078-942-1021

FAX:078-941-1573

E-mail:info@athp.jp



ホームページもご覧下さい

<http://www.athp.jp/>

Midori ~みどり~

平成19年8月1日発行
夏号みどり



今後の当法人の社会復帰対策

理事長・院長 太田 正幸

最近、「格差社会」という言葉が盛んに取り上げられています。この格差社会は小泉首相の時代に広がりました。実はこれは「新自由主義」という思想と無関係ではありません。

新自由主義は大まかにいうと「国公立企業の民営化と福祉の縮小」、「大幅な規制緩和、市場原理主義の重視」を特徴とする経済思想のことです。

この代表例は英国のマーガレット・サッチャー政権によるサッチャリズムです。サッチャー政権は、電話、石炭、航空などの各種国営企業の民営化、労働法制に至るまでの規制緩和、社会保障制度の見直し、金融ビッグバンなどを実施。グローバル資本主義を自国に適用して外国資本を導入、労働者を擁護する多くの制度・思想を一掃しました。その結果、英国病とよばれた経済危機を救うことには成功しましたが、労働者に対する責任転嫁は格差社会を拡大したとの批判もあり、また新自由主義的な政策で国民経済が回復した国は存在しないとする説もあります。

わが国でも、国民の医療費、介護費の負担増を強いたにもかかわらず、給付金が減額されたため、サービスは低下しています。さらに、障害者に対しては、負担を増大した「障害者自立支援法」を施行しました。外来での、一部負担は現在のところあまり問題はありませんが、社会復帰施設においては、利用者様方の負担が一機に増える方向にあります。私どもは利用者様の負担をなるべく軽くしたいと、光熱費込みで、グループホーム「ノア」:月額6千円、援護寮「みどり」:月額1万2千円(トイレ、シャワー付)、9千円、福祉ホームB型「マックナイトホーム」(バス、トイレ、キッチン付):月額4万円。の比較的低額で御提供してきました。

しかし、障害者自立支援法で新しくなった社会復帰施設は、これ以上の利用者様の負担をお願いしても、法人は赤字になる計算になるのです。

ですから、私どもの方針が決まるまで入所はしばらくみあわせていました。申し訳ありません。しかし、旧社会復帰施設体系が今後しばらく継続される見込みとなり、平成19年9月から、入所を開始いたします。

もちろん、この暫定期間の間、行政に働きかけ、なるべく安価な利用料で法人も赤字にならない施設体系を求めていきたいと思っています。皆様方のご理解・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

兵庫県知事表彰を受賞致しました。

平成19年5月3日、当法人の太田正幸理事長が県知事表彰「兵庫県功労賞(健康功労)」を受賞致しました。これは県民の健康増進に功労のあった方を知事が県民を代表して表彰しているものです。この受賞は、当法人にとりましても大変名誉なことです。これをきっかけに更なる医療サービスの向上に努めて参ります。



< 認知症の基礎知識 > その2: 症状を中心に

医師 岩井 雅之

認知症の症状は中心となる症状と、それに伴って起こる周辺の症状に分けられます。中心となる症状とは「記憶障害」や「判断力の低下」などで、必ずみられる症状です。周辺の症状は人によって差があり、怒りっぽくなったり、不安になったり、異常な行動がみられたりすることがあります。

7. 中心となる症状

記憶障害

直近のことを忘れてしまう。同じことを繰り返す。

見当識障害

今がいつなのか、ここはどこなのか、わからなくなる状態。

判断力の低下

寒くても薄着のまま外に出る。真夏でもセーターを着ている。



8. 周辺の症状

妄想

しまい忘れしたり、置き忘れしたりした財布や通帳を誰かが盗んだ、自分に嫌がらせをするために隠したという「もの盗られ妄想」の形をとることが多く、このような妄想は、最も身近な家族が対象になることが多い。

幻覚

認知症では幻聴よりも幻視が多い。「ほら、そこに子供たちが来ているじゃないか。」「今、男の人たちが何人か入ってきたのよ」などといったことがしばしば見られることもあります。

不安

自分がアルツハイマー病であるという完全な病識を持つことはないが、今までできたことができなくなる、今までよりも忘れがひどくなってきているという病感があることは珍しくなく、不安や焦燥などの症状が出現します。また、不安や焦燥に対して防衛的な反応として妄想がみられることもあります。

依存

不安や焦燥のために、逆に依存的な傾向が強まることがあります。一時間でも一人になると落ち着かなくなり、常に家族の後ろをついて回るといった行動があらわれることがあります。

徘徊

認知症の初期には、新たに通い始めた所への道順を覚えられない程度ですが、認知症の進行に伴い、自分の家への道など熟知しているはずの場所で迷い、行方不明になったりします。重症になると、全く無目的であったり、常同的な歩行としか思えない徘徊が多くなります。アルツハイマー病に多く、脳血管障害による認知症では多くはありません。

攻撃的行動

特に、行動を注意・制止する時や、着衣や入浴の介助の際におきやすい。型には

めようとすることで不満が爆発するということが少なくない。また、幻覚や妄想から二次的に生じる場合もあります。

睡眠障害

認知症の進行とともに、夜間の不眠、日中のうたた寝が増加する傾向にあります。

介護への抵抗

理由はわかりませんが、認知症の高齢者の多くは入浴を嫌がるようになります。「明日はいる」「風邪をひいている」などと口実をつけ、介護に抵抗したり、衣服の着脱が苦手であること、浴室の床でころぶかもしれないことなど、運動機能や条件反射が鈍くなっているための不安、水への潜在的な恐怖感などから生じると考えられます。

異食・過食

食事をしても「お腹がすいた」と訴える過食がみられたり、食べられないものを口に入れる、異食がみられることがあります。口に入れるのは、ティッシュペーパー、石けん、オムツの中身までさまざまです。

抑うつ状態

意欲の低下（何もしたくなくなる）や、思考の障害（思考が遅くなる）といった、うつ病と似た症状があらわれることがあります。うつ病では、「気分や感情の障害（悲しさや寂しさ、自責感といったもの）を訴えることがあるが、認知症では訴えることは少ないです。

9. 間違われやすい病気

認知症といっても、原因となる病気はたくさんあります。また、その症状も多様です。認知症と異なる病気であっても、同じような症状を示すことがあります。このような病気のなかで特に間違われやすいのが「せん妄」と「うつ病」です。「せん妄」や「うつ病」は適切な治療を行うことで症状は改善するので、これらと認知症の区別は大変重要です。

・『せん妄』と『認知症』の違い

せん妄は、急性の脳障害に伴って起こる軽い意識障害で、判断力や理解力が低下し、しばしば幻覚や妄想があらわれて興奮状態になります。せん妄と認知症の違いは、せん妄の患者さんは一日の中で症状の変化が激しく、「しっかりしている時期」と「そうでない時期」があることです。アルツハイマー病はせん妄を併発することがあります。

・『うつ病』と『アルツハイマー病』の違い

うつ病は、気分が落ち込んでいくゆううつな状態、やる気が出ない、思考が遅くなるといった症状が続く病気です。うつ病と認知症の大きな違いは、うつ病では「悲しさや寂しさ、自責感など（気分や感情の障害）を訴える」ことです。

今回は、認知症の診断と治療についてのお話です。

